

胃癌症例における AFP 産生胃癌と CA19-9 産生胃癌の腫瘍増殖能の 比較検討(分子生物学的検討)

なが み はる ひこ
長 見 晴 彦

キーワード：AFP 産生胃癌，CA19-9 産生胃癌，生物学的悪性度，Ag-NORs 数，
Ag-NORs 面積，腫瘍細胞核内 DNA 分布量

要 旨

AFP 産生胃癌と CA19-9 産生胃癌の生物学的悪性度を検討した。免疫染色陽性であった AFP 産生胃癌（6 症例）と無作為抽出の胃癌50症例（Stage II～III）で CA19-9 免疫染色陽性であった33例（66%）の生物学的悪性度を検討した。AFP 産生胃癌群，CA19-9 産生胃癌群の腫瘍細胞核中の Ag-NORs 数，Ag-NORs 面積を Ag-NORs 染色により，また腫瘍細胞核内の DNA 分布図を Feulgen 染色にて調べた。結果は Ag-NORs 数，面積とも AFP 産生胃癌が有意に高値であった。また DNA 分布図は AFP 産生胃癌は全て（100%）Aneuploidy pattern を示し，CA19-9 産生胃癌は33例中10例（31%）が Aneuploidy pattern であった。一方，CA19-9 陽性群33例の術後累積生存率の検討では CA19-9 強染色性群が予後不良であった。以上より AFP 産生胃癌は CA19-9 産生胃癌に比べ生物学的悪性度の高い疾患と考えられ，また CA19-9 産生胃癌は腫瘍細胞内 CA19-9 染色度の強い症例ほど予後不良であった。

はじめに

血中 alpha-fetoprotein (AFP) は通常は肝細胞癌，York-sack 腫瘍の腫瘍マーカーとして日常臨床で繁用されている。この AFP 産生能を有する AFP 産生胃癌症例の臨床報告も多い^{1,2)}。一

方1979年 Koprowski³⁾らによって作製された糖鎖抗原 Carbohydrate antigen 19-9 (CA19-9) は腫瘍特異性が高く，膵癌，胆道癌をはじめ肺癌，甲状腺癌，胃癌でも高値を示すことも多い。今回，著者は血中 AFP 値が高値を示し，免疫組織学的に腫瘍細胞中に AFP の局在を証明した AFP 産生胃癌 6 症例と，他方，通常の進行度 Stage II～III の胃癌症例で切除後の根治度 A，B の胃癌切除50例を対象に無作為に選択し

Haruhiko NAGAMI

長見クリニック

連絡先：〒699-1311 雲南市木次町里方633-1